

Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和元年6月発行 no.25

incnu

【特集】

自然災害に備えましょう

- 多里まちづくり推進協議会がさくら功労者に選ばれました
- 大山山麓の謎解き宝探し ○ “たたらんち”が新しくなりました!!
- JA鳥取西部 日南トマト生産部 出荷販売額2億円達成!
- 地域と企業の連携を目指して～「とっとり共生の里」～
- 日野郡で輝く人「男女共同参画推進会議ひの(つくしんほの会)」
- ～この夏登ってみたい～ 奥日野五山 ○ 鹿のお話(前編)

災害から身を守るために

i 大雨や台風の時期の前に、市町村が作成したハザードマップで、危険なところや、いざという時の避難所を再確認しましょう！

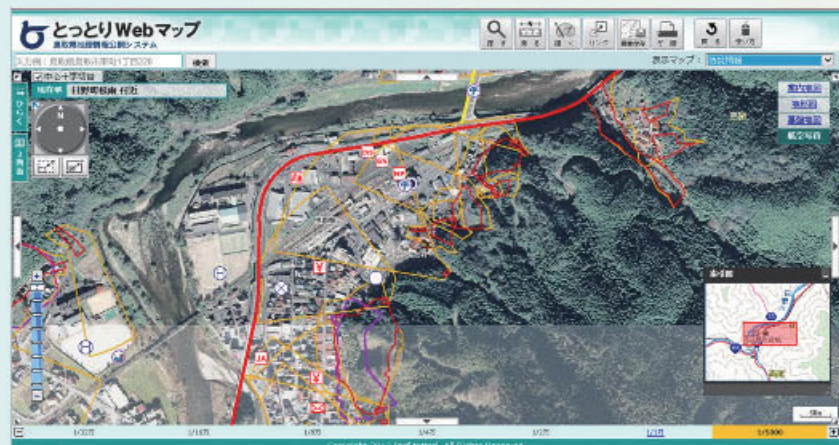
1 いつ危険なのか

土砂災害の危険性がきわめて高くなった時に発表される**土砂災害警戒情報**を知っておきましょう。土砂災害警戒情報はテレビ・ラジオ・携帯電話・インターネットなどで広く多くの方へ情報提供されています。また、あんしんトリピーメールで自動受信したり、ケーブルテレビでも確認できます。



2 どこが危険なのか

鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を**土砂災害警戒区域**として指定しています。日頃から身の周りの危険な場所を確かめておきましょう。



※鳥取県ホームページにおいて、「[とっとりwebマップ](#)」で検索すれば、確認できます。

自然災害に 備えましょう

地球温暖化による異常気象の影響で、これまでに経験したことのない甚大な災害が全国各地で増加しています。昨年は日野管内でも、大雨や台風の影響により大きな災害が発生しました。

今後の台風シーズンに向け、災害から身を守るために、早期の避難について再度確認してください。



日野郡日南町矢戸地内

平成30年台風24号により流木が川を塞ぎ、天然ダムが発生しました。次の出水で決壊の恐れもあるため、災害関連緊急砂防事業で対策を実施しています。



江府町佐川地内

河川護岸が崩れ、町道も半分以上崩れました。災害復旧工事に対応しています。



日野町濁谷地内

国道が半分近く崩れ通行止めが発生しました。災害復旧工事に対応しています。

上記の他にも、たくさんの災害が発生しており、日野県土整備局では県民の皆様が一日でも早く安心・安全な生活ができるように日々努力してまいります。

JA鳥取西部 日南トマト生産部 出荷販売額2億円達成!

日南町の特産品であるトマトが平成30年度に過去最高の2億円の販売額を記録しました。平成31年3月5日に開催された記念大会には多くの関係者が参加し、これまでの歴史を振り返るとともに、今後の産地の発展を祈念して大会宣言が採択されました。

日南トマトの歴史

日南町のトマト栽培は、昭和46年に露地栽培が始まり、現在のような雨よけハウスが本格導入されたのは昭和53年のことでした。昭和60年にはトマト生産部が設立され、その2年後には、おいしさや日持ちの良さで広まった「桃太郎」という品種が栽培されるようになり、平成2年度には早々と販売額は1億円を超え、以後、徐々に生産量を増やしていききました。

しかし、生産者の高齢化や様々な気象災害の影響から栽培面積が減少するなど、平成11年度の1億8千900万円をピークに販売額は減少の一途をたどってきました。



JA鳥取西部 日南トマト販売高2億円達成記念大会

産地復興の取り組み

日南町では平成21年度に農林業研修制度がスタートし後継者を確保する事業を展開、また、産地復興プランを掲げ積極的な生産支援を実施することで、1ターンした方を中心に後継者育成が進み栽培面積の縮小には一応の歯止めがかかりました。

この間に、産地を担う存在にまで成長した若手生産者は平成27年度に日南トマト青年部会を組織し、高品質多収の新品種「りんか409」へ品種転換を図りました。さらに、「日南トマト」の商標が登録され地域ブランドとして新たな市場への販路を開拓したことで、販売額はわずか数年で2億円を突破という快挙を成し遂げたのです。

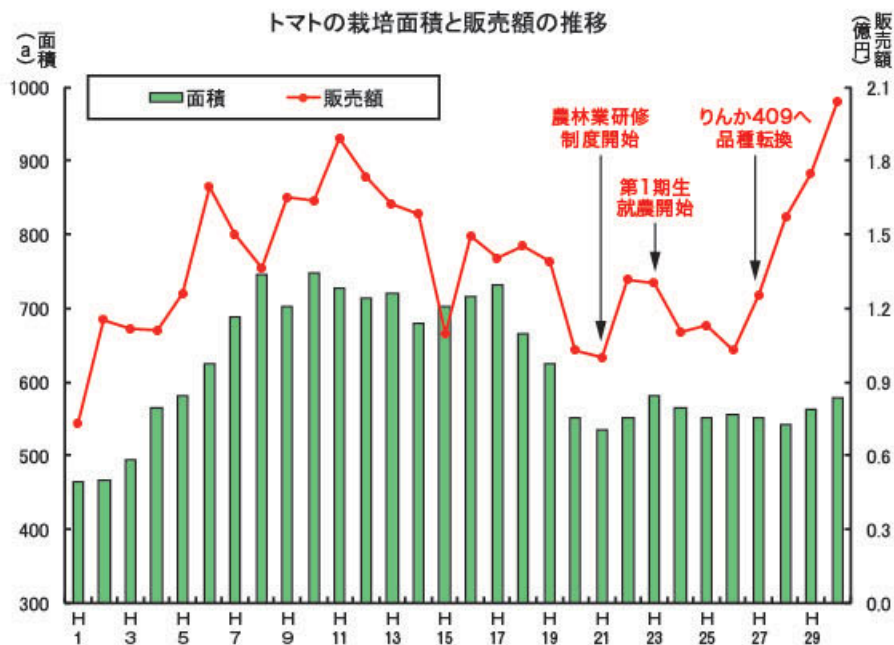


産地の将来像



将来を担う若手生産者の台頭は、産地に大きな変化をもたらすこととなりました。しかし、生産者の高齢化は現在も進行しています。今後はこの現実を慎重に分析し、日南トマトの産地強化に向けた新たな一歩を踏み出すことが必要となるでしょう。

およそ半世紀にわたり数々の困難に立ち向かいながら産地を支えてきた先駆者の努力に敬意を表すとともに、日南トマト生産部の今後ますますの発展を期待します。



日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

多里まちづくり推進協議会が さくら功労者に選ばれました



5月7日、日野振興センター越智所長(左)から榎尾協議会会長(右)に表彰状が伝達されました

公益財団法人日本さくらの会(会長 衆議院議長 大島理森)がさくらの保護・育成等に尽力された個人や団体を表彰する「さくら功労者」に、日南町の「多里まちづくり推進協議会」(会長 榎尾稔正、30団体、個人558人)が選ばれました。

協議会の活動

多里まちづくり推進協議会では、日南町新屋にある「新屋(多里)桜公園」の保護活動を平成25年度から行っており、年間3回程度多里地域のボランティア作業による下刈、抜き伐りのほか遊歩道や駐車場スペースの整備などを行っています。

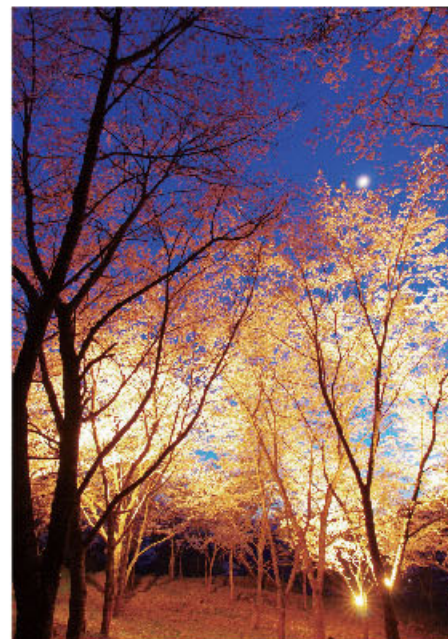
3年前からは、夜間のライトアップを始め、多くの見物客が来場しています。これらの活動が評価され、この度の表彰につながりました。

今年度のさくら功労者は、全国で個人12、団体34が表彰されました。県内では平成29年以来7団体目で、日野郡内では初めての表彰となりました。

新屋(多里)桜公園

多里まちづくり推進協議会が活動している「新屋(多里)桜公園」は、平成7年に多里遺族会が桜を植栽し長年にわたり慰霊公園として管理してきました。しかしながら、高齢化が進み、維持管理が困難となったことから、平成25年度から「多里まちづくり推進協議会」による桜の保護活動がスタートしました。地域の青年グループがドローンを飛ばして上空から桜公園の桜を空撮した映像を、日南チャンネル(地元ケーブルテレビ)に投稿された際には、その美しさに多くの町内の方々から賞賛の声があがっています。「新屋(多里)桜公園」には、約300本のソメイヨシノが4月中旬に満開になります。

- 品種…ソメイヨシノ ● 桜の見頃…4月中旬 ● アクセス…JR生山駅から車で20分
- 園日南町観光協会 電話:0859-82-1715



ライトアップされた桜公園 ©GoGo日野上提供

日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2007 FAX:0859-72-2125

“たたらんち”が 新しくなりました!!

2019年春
バラエティ豊かに リニューアル

たたらんちが食べられるお店は郡内に7店舗あります。詳細はホームページをご覧ください。

エミーズカフェ(江府町)から“たたらんちミニ”が新登場

- 左: キーマカレーのたたらんちプレート 500円(税込)
- 中: 大山どりのキーマカレー丼 500円(税込)
- 右: キーマカレーのたたらパン 180円(税込)



ふるさと日南邑の“たたらんち”が天津飯になりました

- 二色あんかけ! 鉄焼天津飯セット 1,300円(税込)

<http://www.tatalunch.com/> または たたらんち

日野郡広域交流促進協議会(日野振興センター内)
電話:0859-72-2082 FAX:0859-72-2072

大山山麓の 謎解き宝探し

令和最初の夏は、謎解き宝探しで楽しもう! 3年目となる今年は、日野郡を含む大山山麓エリアで、「宝の地図」を手がかりに謎を解きながら、隠された宝箱を探します。それぞれの地域でクリアするとクリア賞、また、抽選で地元特産品などが当たります。

詳しい参加方法などの情報は、ホームページでお知らせします。どうぞ、ご期待ください!



期間 7月13日(土)~9月30日(月)
場所 大山山麓エリア(日南町、日野町、江府町、米子市、大山町、倉吉市)
特設HP <http://nazo.daisen1300.org>

日野郡広域交流促進協議会(事務局 大山町役場観光課内)
電話:0859-53-3110

地域と企業の連携を目指して

「とっとり共生の里」

中山間地では、「もう少し人手があれば、作業の負担が減るのだが」、「年を取ったので、耕作面積を減らしたい。農地を荒らしたくないがどうしたものか」という声が増えています。鳥取県では、こうした農村と農山村ボランティアや企業、市街地住民など外部サポーターとの協働活動を「みんなで取組む農山村保全活動支援事業」として、活動に要する経費を支援しています。

このうち、平成27年度から始まった「とっとり共生の里」は、企業と農山村集落、平成28年度から始まった「むら・まちを支え合い共生の里」は市街地の自治会等と農山村集落が協定を締結し、県内各地で活動を行っています。

日野郡でも、各町で取組まれており、活動前の打ち合わせや当日の作業を通じて、農地利用や集落の将来像について世代を超えて話をする機会にもなっており、地区の活性化につながっています。



【郡内の取組】

町	地区名	協定期間	協定企業	取組概要
日南町	宮田地区	H29.5	損害保険ジャパン 日本興亜株式会社	農地の保全管理、収穫体験、食事作り、鳥獣侵入防止柵の設置等
日野町	菅福地区	H27.8	伯耆地区郵便局長会	水路清掃、サツマイモ栽培、収穫祭等
江府町	御机地区	H28.7	サントリーホールディングス株式会社	遊休地を活用したそばの栽培、そば打ち体験等

日野郡で輝く人

明るく元気な楽しい日野町を目指して!

「男女共同参画推進会議ひの(つくしんぼの会)」

会長 山根美奈子 さん (鳥取県日野郡日野町)

人口減少が進む地域で、住民が豊かに生き生きと暮らし、まちが存続していくためには、誰もがそれぞれの違いや多様な生き方を尊重し、その有する能力を最大限に発揮できる社会を実現することが重要です。

「男女共同参画推進会議ひの(つくしんぼの会)」は、平成12年に発足、現在は40代から80代までの11名のメンバーが、日野町を誰もが住みやすいまちにするため、講演会や研修会などの活動を行っています。



「上野千鶴子講演会」(H29.9.10 日野町文化センター)



県外視察研修(H30.10.31 エスポール出張クリニック) ※会員以外の方も参加

今年4月には、一般の方から募集した文字札を使った「共同参画かるた」が完成。かるたを貸し出し啓発に繋げるなど新しいアイデアを取り入れながら、男女共同参画について、家庭や自治会でみなさんにもっと身近なこととして考えていただくために頑張っています。

日野振興局 地域振興課
電話:0859-72-2086
FAX:0859-72-2072

男女共同参画はとつきにくいテーマだと思われがちですが、かるた遊びを通して子供たちにもこのテーマに親しみを持って育ってほしいと願っています。
【副会長の長谷川真由美さん】

年配でも若くても、自分に自信を持って生活できるまちになってもらいたいと考えています。
【会長の山根美奈子さん】



【会員の松田暢子さん】



「共同参画かるた」絵札は日野町の就労継続支援事業所「セルフひの」が担当。

~この夏登ってみたい~ 奥日野五山

日野郡には、伝説に彩られた風光明媚な山や、珍しい植物が自生する山など、魅力的な山がいくつもあります。そのような山を登山スポットとして広め日野郡を盛り上げようと、奥日野ガイド倶楽部が平成26年に5つの山をピックアップし「奥日野五山」と命名しました。新たな日野郡の観光スポットとして定着しつつあります。

おほかやま さるがくれやま
御臺山(758m)~猿隠山(817m)【日南町】
登山ルート整備:阿根緑むらづくり協議会



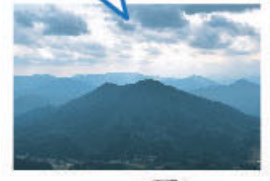
御臺山にイザナミノミコトが葬られたと伝えられています。猿隠山には、道に迷った神様を猿が案内したという言い伝えがあります。

せんつうざん
船通山(1,142m)【日南町】
登山ルート整備:多里まちづくり協議会



スサノオノミコトが八岐大蛇(ヤマタノオロチ)を退治し、天叢雲剣(アマノムラクモツルギ)をアマテラスオオミカミに献上したとの記述が古事記にあり、毎年7月28日に宣揚祭(せんようさい)が行われています。

おおくらやま
大倉山(1,112m)【日南町】
登山ルート整備:石見まちづくり協議会



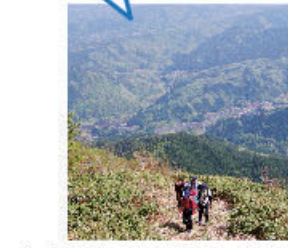
オオクニヌシノミコトが二度目の復活をしたという言い伝えが残っています。

ほうぶつざん
宝仏山(1,005m)【日野町】
登山ルート整備:こうざんすずの子会



大山隠岐国立公園の一部で、山頂から大山を望むことができます。

けなしやま
毛無山(1,218m)【江府町】
登山ルート整備:白馬の会



大山隠岐国立公園の一部で、カタクリの群生や珍しいチョウなどが見られ、県内外から多くの方が登山に訪れます。



古事記に出てくる有名な山や、希少植物が楽しめる山、まだまだ知られていない山など、好みに応じ選んで登ってみてください。五山全て制覇する方も増えてきていますよ。
奥日野ガイド倶楽部事務局長 佐々木 彬夫 さん



日南町福塚 宮田集落

日南町 宮田集落の取り組み

日南町宮田集落は、耕地面積13ヘクタール、13戸の集落です。隣接集落には農事組合法人が設立されており、「宮田もまとまりが必要」ということから、共生の里に取り組みることになりました。作り手が見つからず、集落で管理する水田があり、初年度はこのほ場の耕うん、草刈や鳥獣侵入防止柵の設置を協働活動で行うこととしました。



昼食はイノシシ汁や香たくご飯

普段食べられないごちそうに企業側の参加者も大満足。作業場で、総勢60名を超えるランチ会となりました。



鳥獣侵入防止柵の設置作業

日野郡鳥獣被害対策協議会の指導を受けた後、集落リーダーとサポーターの4名程度で班編成し作業を行いました。

当初は、集落側、サポーターとも、慣れない作業でケガはないだろうか、「子供の参加もあるが、食事は口に合うだろうか」、「足手まといではないか」など不安もありました。けれども、侵入防止柵の設置は2年連続で行ったこともあり、徐々に作業にも慣れ、最終日には、「少しは役に立った気がする」と笑顔で話すサポーターもありました。
宮田集落では、県外に出ている都合をつけて参加される方もいるなど、今では連携活動が一番賑やかな行事になっています。
昨年度は大きな災害もあり、損害保険を扱うサポーターの皆さんは業務上多忙な時期と活動が重なることもありましたが、「約束だから」と30名近い方が参加されました。
連携を通じて築かれた、お互いを思う気持ちや信頼は、集落や企業にとって、貴重な財産になるのではないのでしょうか。

鹿のお話(前編)

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下 卓也



最近、鹿を見たとか、車と衝突したとか、山で「フィヨ～」 「ピーッー」という鳴き声を聞いたとか、鹿の話題が皆さんの周りで出たことはありませんか？じつは今、日野郡では鹿が増えてきています。そこで、鹿の生態と被害について2回にわたってお届けします。

鹿についてと言いつつ、まずは猪(イノシシ)から話を始めます。現在イノシシと呼ばれていますが、昔は「シシ」は「肉になる動物」を指す言葉だったと言われていました。イノシシとは「猪(み)の肉(しし)」、猪肉を示し、カノシシと言えば鹿肉を示していたのです。つまりシカは「鹿(か)」と呼ばれていました。メスジカを「雌鹿(めが)」、オスジカを「雄鹿(せか)」と分けて呼んでいたものが、いつしか「せか」が転じて「シカ」になったと言われていました。「バンビ」を思い起こしたら、背中に白い斑点模様があったと思いますが、あの模様を「鹿の子(かのこ)」模様と呼びます。そう、鹿は「か」なんですね。ちなみに鹿の子模様とは言いますが、夏毛に出現するものなので、大人も子供も夏になると白い斑点のある姿になります。**斑点があるからと言って子供とは限りません！**



日野町宝仏山で撮影した親子鹿



鹿は、5～6月にかけて誕生します。1年に1回の出産で、1頭ずつ生まれてきます。双子以上になることは、ほぼありません。1歳半で発情し、2歳までに完全に大人になります。メスは**2歳以降はほぼ毎年出産する**という優秀な増加力を持っています。オスジカは満1歳で角が生え始め、その後毎年枝分かれしていき、4つの先端になると完成です。**先端が4つある角を持った鹿は、4歳以上のオスジカ**ということです。角は毎年生え変わるのですが、春には少しふよふよとした状態で生えています。この状態を袋角(ふくろづの)といいます。だんだん固くなって表面がはがれて夏ごろには「角」になります。

鹿は**草食性の反芻動物**です。反芻動物の代表格は牛ですが、牛と同様に4つの胃を持ち、食べて一度胃に入った食べ物を口に戻してもう一度もぐもぐして飲み込むという食べ方をします。この食べ方によって、しっかりと草を分解し、栄養を吸収します。さて、草食動物という弱いイメージがありますが、草があれば生きていけると考えると、猪やタヌキなどの雑食性の動物よりエサ資源が豊富で、**生存率が高い**のです。

まとめてみると、鹿は2歳以降は毎年出産し、食べ物が豊富で、十分に栄養を取れるため、子どもはしっかり育つ、出産にも困らない、草食動物は弱いというイメージに反した、実に「たくましい」動物です。それゆえ、人間との軋轢が生まれます。その辺のお話は次号で。

同日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399



表紙写真

タイトル：「豊作の予感」

撮影者：田邊 元巳氏(日南写友会)

撮影者コメント：青葉が目にしみる季節となり、ある日早朝に山里を通りかかると田植えの準備が出来上がった田にハウスのある風景が写りこんでいる景色に出会いました。夢中でシャッターを切り、豊作を祈りつつその場を後にしました。数時間後、再びその場を通りかかると、すでにきれいに田植えが終わっていました。